



# おいざの町

夢に向かって ふみ出す一歩

もっとやさしく もっとかしく もっとつよく

平成31年度  
四ツ屋小学校

学校報 No.32

令和元年11月8日

## 6年 菜の花タイム（高齢者・肢体不自由者体験）

11月5日（火）、6年生の総合的な学習の時間に「人にやさしい社会について考え、思いやりの心を養う」ことをねらいとして、菜の花タイム（バリアフリーについての学習）を行いました。

美郷町在住で車いす生活をしている永代さん、社会福祉協議会の方、民生委員さんにお越しいただき、車いす体験、視覚不自由体験、高齢者体験の3種類の体験をしました。子どもたちからは、「困っている人がいたら、優しく声をかけたい。」「人助けすることを、あたりまえのことにしたい。」という声が聞かれました。

最後に、指導してくださった講師の永代さんが、「今日体験したことを通して、相手がどんなことで困っていて、どのように助けたいのか、思いやれるようになってほしい。一番大切なのは、相手を思いやることです。」と話してくださいました。



講師の永代さん



車いす体験



視覚不自由体験



高齢者体験

## 1年生 研究授業（生活科）

11月6日（水）、1年生で生活科の研究授業を行いました。「ドングリ」「栃の実」「落ち葉」などの秋の宝物を使って楽しいおもちゃを作る活動でした。

参観してくださった指導主事の先生からは、「授業に向かう子どもたちの姿が素晴らしい。」「発表するとき理由をつけて堂々と話せることが素晴らしい。」「話の聞き方や発表の仕方などの、学習習慣がしっかりと身についている。」と、お褒めの言葉をたくさんいただきました。



おもちゃが完成したら、四ツ屋こども園のきりん組さんを招待して「おもちゃまつり」を行います。子どもたちが、キラキラと輝いている授業でした。

## 児童 引き渡し訓練 11月14日（木）

すでにお知らせしております通り、14日（木）に「児童引き渡し訓練」があります。今回の引き渡し訓練は、四ツ屋こども園、どれみ保育園と連携して行います。これは実際の非常時を想定し、特に、園に子どもさんが在園しているご家庭への引き渡しの方法を幼小で共通理解すると共に、各ご家庭にも理解していただくために行うものです。事前に、駐車場所や引き取り順の確認をお願いします。

前号でお知らせした読書感想文コンクール大曲仙北審査で一席となった〇〇〇〇〇さん（2年）の読書感想文を紹介します。

対象図書：もぐらはすごい（アヤ井アキコ著，アリス館）

また会いたいな，かしこいもぐらくん

2年 〇〇〇〇〇

ぼくは前にもぐらを見たことがあります。おじいちゃんが畑をあらされてこまるから，もぐらとりの名人にたのんだのです。わなにかかった，わるさをするもぐらは，もぐらづかの大きさからよそうするよりずっと小さくて，ぼくはかわいそうに思いました。この本を見つけた時，そのことを思いだし，すぐに読みたくなりました。

もぐらにはびっくりするひみつがありました。はなの先のアイマーきかんです。それは，かすかにふれただけで何かを知ることができます。空気のゆれまでかんじることができるそうです。ぼくは，スコップのような手でほっているのは知っていたけれど，どうやってまっくらな土の中をまよわずにほっているのかふしぎでした。わなをしかけても，なかなかもぐらがつかまらなかつたりゆうも分かりました。きっといつもとちがう空気をさっちして，よけていたと思います。もぐらはびんかんで，しんちょうで，かしこいと思いました。まっくらな土の中で生きるのに合った体のつくりになっていてべんりだと思いました。

いがいに思ったこともあります。それは，もぐらのえさは土の中の虫だということです。おじいちゃんたちは畑があらされてこまってもぐらをたいじしました。でも，ねや土の中のやさいにきずをつけることはあるけれど，やさいはほとんどたべないそうなのです。さつまいもなどをたべているのはねずみなのだそうです。ぼくはこの本を読む前，もぐらはわるいやつだろうと思っていました。でも本を読んで，もぐらのことが分かって，もぐらがかわいそうに思いました。もぐらは土の中でひっしに生きているのに，人間のつごうでころしてしまっているように思いました。畑でとれるさつまいもも好きだけれど，もぐらのいのちもだいじだと思いました。

もぐら知ったらもぐらが好きになりました。なかなか会うことができないもぐらだけれど，土の中を考えてわくわくします。